

20101一般石炭鉱業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労 働 者 規 模
1	2017	12	13~14	当社の混炭場に隣接する石炭置場において、被災者和他1名の2名で、積雪を防ぐ石炭養生を行っている各大型シート（1枚サイズ：18m×18m）上の除雪とシート調整作業を開始した。除雪後、被災者がズレ落ちたシートを引き上げる作業をしていた途中、突風が吹いてシートが巻き上がり、体ごとシートに持ち上げられて、後向きに3m程飛ばされ落下し、凍上石炭面に腰部を打ち負傷した。	52	3	523	10 ～ 29
2	2013	2	11～ 12	採石場にて、重機に乗り込もうと足をキャタピラの上にかかけ、手すりを掴もうとしたところ、滑り、下の穴に落下した。	57	1	711	1 ～ 9
3	2013	2	7～8	鉱山の選鉱場にて、見回り作業中、分級機からのポータブルコンベアのテールプーリーに木片が挟まっていた為、手で取り出そうとしたところ、ベルトに接触し、巻き込まれた。	43	7	129	不 明
4	2012	8	14～ 15	石炭石採掘場にて、石炭原石をダンプで運搬していた際、空車で下り坂の運搬道路を通行したところ、後輪がスリップして、逸走し、鉱山道路から飛び出し、2. 5 m下に転落した。運転者は車両から振り落とされ、小段に転落し、負傷した。	24	1	711	30 ～ 49
5	2012	5	17～ 18	デイルーム側へ戻る為、歩きかけた際、デイルームが清掃中であつた為、フロアが濡れていたこと気付かず、足から仰向けに滑り転倒。手をつき、手首を骨折した。	59	2	921	30 ～ 49

6	2008	5	14～ 15	混炭場の土場で混炭終了後、原炭にシートをかける作業の際、突風が吹き、シートがあおられてシートに巻き込まれ転倒した。	63	1	711	10 ～ 29
7	2008	2	11～ 12	混炭場の土場で源炭をタイヤショベルで堆積中に炭塊が転げ落ち、左足に負傷した。	63	4	523	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。